

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（412）
2. 日時：令和4年11月21日 14時05分～16時05分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官※、江崎企画調査官、藤原主任安全審査官、
宮本主任安全審査官※、秋本安全審査官※、伊藤安全審査官、
大塚安全審査官※、日南川技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

石田技術参与※

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他11名

原子力事業統括部 原子力安全推進グループ（担当課長）※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（入力津波の設定に係る指摘事項回答）（令和4年11月15日提出資料）
- （2）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（津波防護方針等に係る指摘事項回答）（令和4年11月15日提出資料）
- （3）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r.3.5）（令和4年11月15日提出資料）
- （4）ヒアリングにおける指摘事項に対する回答資料（No.40、No.58）（令和4年11月15日提出資料）
- （5）ヒアリングにおける指摘事項に対する回答資料（No.45、No.50）（令和4年11月15日提出資料）

- (6) ヒアリングにおける指摘事項に対する回答資料 (No. 48) (令和4年11月15日提出資料)
- (7) ヒアリングにおける指摘事項に対する回答資料 (No. 51) (令和4年11月15日提出資料)
- (8) ヒアリングにおける指摘事項に対する回答資料 (No. 53) (令和4年11月15日提出資料)
- (9) ヒアリングにおける指摘事項に対する回答資料 (No. 55) (令和4年11月15日提出資料)
- (10) 泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表(第5条 津波による損傷の防止(耐津波設計方針))(令和4年11月15日提出資料)
- (11) 泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表(第5条 津波による損傷の防止(耐津波設計方針))(令和4年11月15日提出資料)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい。
0:00:03	規制庁藤原です。それでは時間になりましたので泊発電所3号炉耐津波設計方針についてのうち、11月15日にヒアリングを実施したものの、
0:00:13	ちょっと説明がちょっとまだ終わってないんん関するもの、具体的にと感度解析と、あと、貯留堰ですね、これに関して質疑をさせていただきたいと思います。それでは北海道電力の方から説明してください。
0:00:27	はい。北海道電力の高橋です。本日は先週に引き続きまして、津波防護方針に関わる審査会合での指摘事項。
0:00:38	残り2件ございますので、その2件についてご説明をさせていただきたいと思います。まず感度解析の概要の方からご説明をさせていただきます。
0:00:51	弊社青木の方からご説明をさせていただきます。
0:00:55	あと北海道電力の青木です。パワーポイントの資料を用いて説明させていただきます。
0:01:01	1ページ番号ですが、8ページをお願いいたします。
0:01:07	今回指摘事項No. 4の回答というところで主水路及び放水路の管路解析について、施設の構造を踏まえた解析条件管路モデルを説明することに対応させていただきます。
0:01:20	回答としましては、敷地へ津波が流入する可能性がある取水炉及び放水量を確認した結果、以下の水路が挙げられますと具体的には12号炉の取水炉、
0:01:31	3号炉の取水量12号炉の放水炉、3号炉の放水炉は四つの水路を対象に感度解析を実施しますのでこれらの施設の構造を踏まえた解析条件。
0:01:42	管路モデルについて今回説明させていただきます。
0:01:45	と、9ページをお願いいたします。
0:01:49	これらの四つの水路を対象に管路解析を実施しまして、この9ページの右上のところに、管路解析モデルの概要を記載しております。
0:01:59	同取水経路放水経路については、藤水路の水位によって開水路の区間と管路区間が混在しており、この微小管に分割した水路の各部分、ここで管路モデルというところが、
0:02:12	戸開水路の状態か管路状態かを時々刻々と判定しまして、菅野区間になった場合はその上下ダウンっていうの開水路区間の推移を用いて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:23	流量計算を行い、開水路となりましたら、1次元の不等流の式によって、それぞれの流量水位を計算していております。また立坑部池モデルと呼んでいるところですがこちらは水面面積を鉛直方向に積算した。
0:02:37	水容積の関係を用いて接続する水路の流量の合計値から水位を算定しております。
0:02:45	お続け 10 ページをお願いいたします。
0:02:48	ここから各水路に対するモデル化の説明となります。
0:02:52	12 号炉の取水炉では取水口から取水ピット間をモデル化しておりまして感度解析を実施しております。
0:03:00	こちら、津波防護施設であります一時号炉取水ピットスクリーン室防水液については、池モデル池郷と書いてあるところについて、として考慮しております。
0:03:11	詳細は割愛します。続き 11 ページをお願いいたします。
0:03:16	こちら 3 号炉市水路のモデルになっておりましてこちら 12 号炉取水炉と同様に、取水口から取水ピット間をモデル化しております。防水平均についても、モデル化に反映しております。
0:03:31	続いて 12 ページ 13 ページをお願いいたします。こちらの 2 ページにかけて 12 号炉の放水炉に関する説明を行っております。
0:03:40	ここでは放水工から放水ピットの間をモデル化しておりまして感度解析を実施しております。
0:03:48	最後に 14 ページ 15 ページをお願いいたします。
0:03:51	ここでは 3 号炉の放水炉を対象にモデル化しておりましてここでは放水工から一次系放水ピットの間をモデル化して管路解析を実施しております。
0:04:02	また津波防護施設であります流路縮小工については、池モデル管路モデルとしてそれぞれ考慮して、解析モデルに反映しているというところになります。
0:04:12	この指摘事項 No. 4 に関する回答は以上とさせていただきます。
0:04:21	はい。規制庁藤原ですそれでは質疑に入りたいと思います。私の方からなんですが、
0:04:29	パワーポイントまとめ資料ちょっとあれですけどちょっといろいろちょっと見ながらしてみたいと思います。パウポの方の 9 ページをちょっと開いていただきまして、
0:04:39	9 ページの右上の破線で書いてある内容のうちの二つ目のポチの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:45	ところについてと聞きますところの立坑部池モデルワース医院面積は一応ここに積算した水容積関係を用いて立坑部に接続する云々とか
0:04:56	書かれててこの意見モデルっていうのがこういうものですよというのが書かれてますのはわかりましたが、じゃあ具体的にこれが立坑として今回示されてるやつに対してどうやっているのか。
0:05:10	というのがちょっとごめんなさいわかりませんでしたで、もっと具体的に言うと11ページとか、
0:05:16	開いていただいでですね。
0:05:18	池モデルでいろいろ書きちゃあるんですけども、
0:05:23	一番いいのはあれですね、貯水プールとか、いうのがあるんですけど、そもそもこの貯水プールを、
0:05:30	どういうふうモデル化しているかで、どういうふう、要は水が流入する高さをどう設定しているのかとか、
0:05:37	これ前回のヒアリングで見て、要は流出、或いは別の、NKないないのかとか当然ありますけど、要は何が言いたいかというところのこの11ページのこのモデル図と、実際のこの
0:05:49	隣にある平面図断面図、これとの対応がちょっとごめんなさい、わかりませんでしたでこれはちょっともうちょっと何かわかるような、ちゃんと対応できるようにして欲しいです例えば、
0:05:59	池さんと書かれてるけど、この具体的に平面断面でどこになってるのかちょっとわかりません。
0:06:05	もっと言うと取水口で池内とか池野とか書いてあるけどこれなぜ二つに分けるのか、おそらく貯水堰が、2であるかとか要は、ずっとこのモデルをちゃんと対応させたとの、
0:06:18	パートじゃなくてもいいんで、まとめ資料ですからこれ最低限、まずやってもらって、それはパワポに必要なに応じて、
0:06:25	更新。要は、そこのちゃんとモデルと図の対応をいただきたい。これはいかがですかまず。
0:06:33	北海道電力の青木です。指摘を踏まえましてどこを、
0:06:39	どの意見モデルを平面図上でどのようにモデル化しているかっていうところの詳細が見えてこないというところなのでその点分かるような資料の適正化を図っていきたいと考えております。以上です。
0:06:51	はい規制庁藤原です。その上でちょっとわからないのが、3号のこの何ていうんすかね防水筆記を今回広く、
0:07:02	してるじゃないすか地上にですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:05	ここうっていうのは、池としてどういうふうに、先ほどの文章だと円着方向に積算、睡眠面積を一応コンコン積算した水とか書いてあって、
0:07:16	それっていうのは何ですか。
0:07:21	例えばこの池5の中で地上部の水面面積とかいうのは、
0:07:29	ちゃんと何か反映されているのかということも資料上ちょっとわからなかったんですけどまず事実確認としてそこ。
0:07:35	そういうふうな要はエンチ高校に断面が変化してるもの。
0:07:39	これ反映されてるんでしょうか。そこを説明ください。
0:07:43	北海道電力の青木です。藤池郷と池9合わせて防水
0:07:50	取水ピットスクリーン室防水液と、貯水プールのところをモデル化しているものと考えております。ちょっと口頭だと説明しづらいところではあるんですが、
0:08:00	池9については貯水プールに該当するところの、
0:08:04	ものを鉛直方向に積分したものを、池後はそれ以外のところっていうところになります。その池子っていうところに、今の資料上だとスクリーン室としか書いてないのでわからないところなんですけど、
0:08:16	スクリーピットスクリーン室防水液のところも、水面面積として考慮しているところになります。先ほどの質問とあわせて、今後わかるような形で、
0:08:29	資料化していきたいと考えております。以上です。
0:08:32	はい。もっと具体的言うところの、池子というの面積っていうのは、何て言うんですか。その上の何だろう、防水秀子また平面的な面積なのかそれとも、
0:08:45	その下の、要は地下部のスクリーン室の面積を使っているのかこれ、どっちなんですかね。
0:08:52	藤北海道電力の青木です。土地上部より下のところについてはスクリーン室というところで、衛藤水面積をそれぞれ地下のところモデル化していて、
0:09:04	地上より上の部分については、防水平均のところ、面積を考慮してるということになりますので、言葉で言うと両方考慮しているということになります。以上です。はい、規制庁ですわかりました。そしたら池子っていうの詳細な説明の中でそういった、
0:09:19	高さ方向の面積の違いがちゃんと表現できていることをちゃんと明確にしてください。その上で例えば神野だとその旧加来、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:30	旧祝とかいう損失とかもあろうかと思うんですけど要は延長孔口に対するそういった損失。
0:09:36	例えばこのスクリーって何ですかねスクリーンのところだけ、開口が開いててすごい急縮してるとか、もしかしたらこれ無保守的に無視してるとかいろいろ。
0:09:47	あろうかと思うんですけどその辺をちょっとどういうふうな損失を考えてるのかっていうのは、さっき言った縦断方向の構造のモデルも踏まえて説明くださいこの件いかがですか。
0:10:02	北海道電力の青木です。藤池モデルの鉛直方向の流れについての損失をどのように考えているのかというところ、ちょっと確認した上で資料化して今後説明させていただきたいと考えております。
0:10:16	藤原の根井江崎ですけども、藤原の言った話の中で、多分その損失っていう中に、
0:10:23	多分こうスラブの中小番の
0:10:26	開口率、
0:10:28	いわゆる、
0:10:29	水路部から、そのポンプが儲かってる中小番。
0:10:33	あとまた常盤ですよね長伴。
0:10:37	いわゆる
0:10:40	没水駅、
0:10:42	がある。
0:10:43	高さのエリアには開口部があって、その開口部通過して入っていくという、
0:10:49	概念なんですけどそういったところをどういうモデル化しているのか、っていうこと。
0:10:54	多分、池6とか池永は、多分あんまりその開口がないのでそこから、
0:11:01	どういう形で地上部の方に水を、
0:11:04	出していく形に考えてるかような、いわゆる、
0:11:08	しすダウン取水措置とかしていて、
0:11:11	場合によっては、郷池6行けるなに関しては、多分水路部だけはプールできるけど、上の方には行かないんじゃないかなと思っていてモデルとしては、
0:11:23	それ正しいかどうかわからないけどそういったことも踏まえてですね、それをわかるように、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:28	説明ください割と立体的な絵だとかいろいろなものを使いながら、駆使して、
0:11:34	することになるかもしれませんが、実際にどのように、理想化してモデル化しているのか、モデル化と理想化ですから、こういった考えに基づいてモデルを通構築しているのか。
0:11:47	特に3次元、いわゆる3次元で評価しなくていい。
0:11:51	ていう話がですね多分。
0:11:53	その中でもせん、どういうふうにモデルを組み込んで構築するかによって、それが読み取れるんだと思うんですね。その辺が、我々として理解できるようにですね、説明ください。
0:12:03	以上です。
0:12:06	当北海道電力の青木です。藤ご指摘踏まえ確認事項を踏まえて鉛直方向の損失のどのような損失が発生するかっていうところを踏まえた上で、それをどのようにモデル化しているかっていうところを今後説明させていただきたいと思っております。以上です。
0:12:26	はい。規制庁藤原です。ちなみにこのまとめ資料の添付5というタグのですね、添付5-16、
0:12:33	これ一さっきさっきの損失水頭表というのが整理されて一応、私自身は表とあとさっきのモデルとかを、一応、知久地区、全部見たところ、多田池が、
0:12:44	ものによってその書いてあったり、物によって変えてなかったりとかあるんで、ちゃんとこの表ってのはきちっと明確にして欲しいなと思います。きっとで、例えばハウスイ、
0:12:54	放水施設の方、例えば5店舗の18とかは何か、
0:12:58	Aと書いてあるものがあるんすよね池が、うん。
0:13:01	で書いてない意見も何かあったりしてるっていうには何を基準にやってるのかもちょっとよくわかんない。これは記載が、もしかしてなんかルールがあるのかわかんないですけど、ただ、
0:13:10	さっき言ったようなモデルがちょっとわからないんでここをちゃんとやっていただきたいと思います。数点よろしいですか。
0:13:18	北海道電力の青木です。まとめ資料側の表のところでは損失をまとめているところなんですけど、表を見たところ、見た、
0:13:29	ところで衛藤。
0:13:32	どのような損失を見ているのか、考慮していないのかしているのかってところがわかるような形で紐づけて整理したいと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	以上です。はい。規制庁、それに加えてさっき言った意見もすべて網羅、
0:13:46	下へと表にしてくださいっていうのがいいと言いたいことでこの添付5-18でいくと、意見のご登録がありません。あと、池野2と3と4もありません。
0:13:57	で、矢内で何か理由があるんだったらそれをきちっと書いてください。
0:14:01	でよろしいですか。
0:14:05	あと北海道電力の青木です。衛藤。確認事項を踏まえまして、考え方を整理させていただきます以上です。はい。規制庁城です。ついでにこの、
0:14:15	前表で申し訳ないんですけども、細かいですけどこの種類のところの流入とか流出っていう向きなんですけども、取水量だとこれが逆になってるんですね、本制度だと。
0:14:27	このパターン、要は本セルだと何か循環す流れを多分せいにして、流出とか流入とか考えてるんですけどちょっと、我々なんか津波で見るんだったらちょっとどっちか統一を、
0:14:40	図って欲しいと思ってるんですけどこの点、ちょっといかがですか。
0:14:45	北海道電力の青木です。流れの方向についても、取水と放水で違ってくると、わかりづらいところを踏まえまして、考え方について、ちょっと整理してまとめていきたいと考えております。以上です。
0:14:58	はい、規制庁藤山です。ちなみにこの管路って何か津波が出たり入ったり要は押し波引き波とかあるんですけどその時には、何だろうその流入の種類を、
0:15:08	そのプログラム内で切り換えているという理解でいいんですか。いやもうそういった何かそういうふうに、どっか、
0:15:14	多分、流出と流入であるよね、係数が違ってると思うんですけど。
0:15:25	北海道電力の青木です。津波が来た際には水路の奥の方にどんどん津波が入っていくというところになります。一方感度解析ではそのあとに津波が引いて行って水位が下がっていくところ。
0:15:38	もんで、投票再現しているというところになりますので、この流入と流出の損失の考え方っていうところをちょっと確認した上で、再整理させていただきたいと考えております。以上です。はい。規制庁牛山です。わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:53	ちょっと話若干戻るんですけど、さっきパワポでいくと、11-3号取水炉一旦ですけど、3号の放水炉の方にちょっとお話をいただきます。15ページ。
0:16:04	14、15ページが、3号の本水路で、今いろいろ話している流路縮小工はここにあるかと思うんですけども、
0:16:14	この流路縮小工に関するモデルをさっき言った話でちょっときちっとモデルどういったような、
0:16:21	何だろう。
0:16:23	多分流路縮小工とあれですねもうちょっとこんな大ざっぱなところだけの図じゃなしに、もちろん細かい図がドッカー記載ありましたよねなんか黄色ハッチングでやっててどういうふうな、
0:16:34	27ページか。
0:16:37	17ページを見たときにですよこの開口部平面図と開口部の、ちょっと何か立坑間やちっちゃいの立坑があってそこから、水平方向に何か管がいつてとか、
0:16:47	その下方向にこういくで、どこがいけてどこが、藤菅野かっちゅうのがこの14ページだとさっぱりわかりません。
0:16:57	これちょっと、
0:16:58	さっき言った内容と同じですけど、要はここもちゃんとわかるようにしてください。よろしいでしょうか。
0:17:04	北海道電力の青木です。先ほどの確認事項を踏まえてこれについても、わかりやすいような形でどこモデル化してるかっていうところを説明させていただきます。現状で口頭で補足させていただきますと、
0:17:17	TP-1メーターより下のところについては、池野市というところでモデル化しております、
0:17:24	当27の平面図の左側のところ開口部と書いてある左下の縁に該当するところ、
0:17:32	これを鉛直方向の上方向に延ばしたところを、池野7でそれ以外のところの、
0:17:38	放水ピットの上部側の空間になるんですかねそちらは、池野6としてモデル化してるようになりますと、これもちょっと口頭だとわかりづらいので、
0:17:49	今後資料化のうえ説明させていただきます。以上です。はい。土岐町長ですわかりました。ちなみにですねさっきちょっと江崎の方からもちらっとあったんですけど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:00	要はこういった1次元の的なカンロの甲斐関井というときんとあと平面次元的な
0:18:07	要は解析っての違いとして例えば図とか、例えばこの27ページ見たときに、平面図ですねこの開口部っていう左下の、
0:18:16	ところに、水が抜けていくとき、
0:18:19	多分抜けていくときですかねなんか、何となくうずまきそうな気もしないでもないんですけどそういったのっていうのは、何か考慮は、
0:18:27	損失係数みたいな形で考えられてるんでしょうか。或いは何か保守的な評価を何か、
0:18:33	どうにかやっているとかって何かありますか。
0:18:36	なんか私が見た今までの例だと例えば高浜とかだとかこういった地上に出てきたところは何か二次元平面でモデル化してることもあったんでちょっとそれとの違いは何だろうというところをちょっと今、
0:18:46	確認したいところです。この点いかがですか。
0:18:52	北海道電力の青木です。ちょっと宇津の考慮っていうところについて確認の上また別途回答させていただきます。以上です。
0:19:04	はい。規制庁藤原ですわかりましたじゃそこはまた確認を、結果を教えてください。はい。
0:19:10	ちょっとまとめ資料ちょっと戻りますけども、江藤添付5の2ページに行ってください。
0:19:20	これちょっと根拠だ形なんですけどもポンプの取水量のごめん、感度解析の計算条件っちゃうのがあってここで境界条件としてポンプの取水量だったり放水量とか、
0:19:34	あと解の付着しろとか、いろいろ数字が書いててその根拠がちょっとごめんなさいこれ、ここに記載がないのできちっと根拠は何か書いて欲しいです。だってなんか取水量なんかどっか、
0:19:46	何かどっか入ったかもしれないけど、もしかしたらそのリンクを貼るとかですね。
0:19:50	もしあれだそのままピタッとある。
0:19:53	というのは地方水路と放流量後、
0:19:56	体の付着資料の10センチなんかポンとこれ出てきてますけどこれって何か、
0:20:00	何で実際には例えば何か、実際に作業除去作業をやったときに、これだけありましたとか、
0:20:10	その除去作業はどれくらいの頻度でやってますとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:13	それ四方水路で当然やってますと。
0:20:16	ですね、一応そういったのをちょっともうちょっと具体的な根拠を先行プラント府の記載を踏まえてちょっと示していただけませんか。
0:20:27	北海道電力の青木です。まずは管路解析における計算条件で根拠が読み取れないところについてはわかるような形で記載の適正化を図っていきたいと考えております。
0:20:38	その中で具体的な例というところで、簡易の付着後の10センチメートルの航路について先行サイトホールの上記載をというところで、こちらなんですけど10センチメートルについては文献値を用いております、
0:20:51	ただその文献値だけではなくて、当社の点検結果等も踏まえて設定している値なので、その辺りがわかるような形で今後資料化して説明させていただきます。以上です。
0:21:03	はい。衛藤規制庁藤原です。わかりました。はい。
0:21:07	藤は、そうですね。
0:21:12	うん。はい。
0:21:14	同じまとめ資料添付5-7ページをちょっと見ていただいて、
0:21:18	ええと、
0:21:19	これ、パパにも伝わる図かもしれないですけども、
0:21:23	ここに宇都12号の没水。
0:21:27	ち阿藤放水高っていうのがありまして、水野。
0:21:34	丹、皆さんちょっとまず事実確認として管路解析上、津波が流入するのは、どこですかね。ここは放水小或いは断面図でいうと放水工のところですか。
0:21:46	このTPが大分低いところそれとも、
0:21:49	ある一定の高さを超えたらこの放水路から流入するようなそういったモデルになってるんでしょうか。この件、説明ください。
0:21:58	当北海道電力の青木です。東邦水路12号放水炉と3号水路両方共通しているところになるんですが、と放水高を境界条件と与えておりまして、またほう素1、
0:22:11	その上部から津波が流入するところ、またその逆に津波が吸い上がって補正值から出ていくところっていうところもあるのでその放水位置とも踏まえた上でその境界条件で、
0:22:23	衛藤、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:25	放水高と放水中の両方を考慮した上で、モデルとして津波水位算定しておりますので、その点分かるように、資料化して説明させていただきたいと考えております。以上です。
0:22:37	はい。規制庁じゃないちょっと今、両方八つ具体的内容ちょっとこれから示していただけたと思う。何か、何がしか、これ須田はい、わかりました。はい。
0:22:51	土地まとめ紙としてまとめ資料ちょっと細かいかも知れんすけどこの7ページのこの
0:22:57	今度ちょっと感度解析の分ばらつきとか不確かさなのかな、なるかもしれないけど一応管路解析の目的地のさっきの敷地への流入、またその
0:23:07	津波動防止浸水防止設備の設計化に用いるということで、確か12号の放水炉のどこかには現時点では
0:23:16	逆止弁、名前ちょっと忘れた、何とか逆止弁があったかと思うんすね。それに対する水圧が今一番でかい状況を多分モデル化するとしたときに、
0:23:26	これ多分もしそういった逆止弁が配置されるとしたらこの添付5-7ページの上の平面図上のこれは方、1号放水ピット。
0:23:36	どの、もうちょっと先なんですけども実際、水頭の放水ピットの水圧を使うと思うんすね。
0:23:42	この放水ピットの一番水圧がでかい状態っていうのをどう考えるか。
0:23:47	もっと具体的言うと、例えば2号の放水ピット。
0:23:50	ろが。
0:23:51	崩れてしまって、ふさがれたときに、じゃあ、津波の流入量が一定だったら、1号放水ピットにこう集中するんじゃないかとかっちゃう、そういった考えての何か今、
0:24:02	現在検討されてますか、この件、説明ください。
0:24:23	さあちょっと社内確認しますので、お待ちください。
0:24:51	北海道電力の植原です。2、例えば2号の方水路が閉塞した場合に1合法性の水位が変わるかどうかみたいなところについては、
0:25:03	ちょっとこれまでは考慮しておりませんでしたので必要補正も含めて、検討したいと思います。
0:25:14	規制庁の土岐ですけども。
0:25:16	前提条件として、エコ解析の、
0:25:20	うん。
0:25:20	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:22	添付添付の
0:25:25	5 でしたっけ、この 2 ページに、いわゆる、
0:25:29	取水ポンプ、
0:25:31	いわゆる非常用系のものは動いているという前提で、多分循環水は止ま ってるという前提になってるのかなと思うんですけど。
0:25:40	絶対的に言うと、
0:25:42	これはどっちかっていうと、ただ、高い方を抑えてるんで、ここ、この 後で、貯水量の話じゃないんでいいんだと思うんですけど、
0:25:51	その循環水のもの止めているってことでいいですよ。
0:25:57	いわゆる、
0:25:59	津波、
0:26:00	まだ全体をファンする、細かくやってないから、はっきりしてこないん だけど、
0:26:06	そう。
0:26:07	例えば大林
0:26:10	燃料輸送センターで行くとかあの辺で理由と、いわゆるタイムチャート 出てくるんだけど、
0:26:15	いわゆる、
0:26:16	津波、
0:26:18	注意報が出て、儘田大谷帳票が出て、結局トリップをするっていう状態 になりますよね。それで、車によっては、
0:26:26	すぐさま循環水ポンプを止めてしまう。
0:26:30	流砂もあれば、比較的安定性、安定性を保つために、少し動かしたまま にしているという者もあったりするんですよこの場合は、実際どう なのかということと、
0:26:43	後、実際のこの感度解析で、
0:26:47	入力津波として高い方、
0:26:50	を求めるときは、多分、
0:26:52	吸い込まない方が、循環水を回さない方が、基本的には、
0:26:56	津波なんし、
0:26:59	浸水だ、高さは高くなりますよね。
0:27:03	そういった妹尾う考えに基づいてるのかそこら辺の考え方。
0:27:07	もうちょっと教えて欲しいんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:14	北海道電力の植原です。津波警報発信時には原則としてプラントトリップして、循環水ポンプも元メールますし、あと、今、12号機については、
0:27:26	長期停止中ということで循環水ポンプを停止している条件ですので、感度解析もその条件と考えてございます。
0:27:35	実際ですねその後追い様。
0:27:39	貯留量の場合は多分すぐ止めるといっても数、ある程度動いてるわけですよ。
0:27:45	惰性で、
0:27:49	回転してるわけで、それで動いて水を、ある程度は減ってしまう。
0:27:56	という、
0:27:58	状態をですね多分関連サイトとかいうところはみんなやっていたわけで、
0:28:02	だから使い分けしないといけないと思うんですよ。高くする方、高いものに関しては、より保守的な条件でやっていたりしてるんですよ、不確かさ。
0:28:12	その辺の考え方をちょっと書いていただけませんかかって言って説明を加えてくれませんかというのが、
0:28:19	私の希望なんですけど、よろしいですか。
0:28:23	いわゆる、
0:28:24	ここではこういうものを求めようとしているので、安全側にこうしますとか、
0:28:30	そういう説明でも結構なんですけど。
0:28:39	ただ、いわゆる循環水のポンプの止める止めないまたはそのだせで動くっていうものに関して言うと、いろんな津波の中でも、いろんなところに関係してきちゃうんですよ。
0:28:51	関係してきてしまうので、
0:28:53	ただ、
0:28:56	何を求めるか、何を評価するかによって、その安全性を設計だから、安全側に、
0:29:04	例えば循環水を止めた方が安全側のある数値がえられるのであれば、そうしますって言ってもらいたいし、
0:29:11	逆に、ある程度ポンプの惰性回転を考えた方が、引き波時の総貯留量としては安全側なので、そうしますとか、
0:29:21	そういうたてつけと、そう、実際的前提条件を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:27	ローム、
0:29:28	明らかに書いていただいた、もらえばそれは特に冒頭の方に、そちらの設計思想がよくわかるのでこれ設計思想だと思うので、その辺はちょっと明確にどこかで記載していただけないかということ。
0:29:42	北海道電力の植原です。まず、管路解析については、先ほどお伝えした通り保守的な条件となるように停止条件でやっております。また、2.5の、
0:29:55	貯留堰の評価におきましては、今まとめ資料にも記載してございますが、循環水ポンプ停止するまでの工夫点のような形の流量については考慮して、保守的な評価になるようにしてございます。
0:30:10	それを資料上も、わかるように話したいと思います。
0:30:35	規制庁の伊藤です。すいません今のにちょっと関連する話もあるんですけど、今10月にポンプの取水側のお話だったと思うんですけど
0:30:48	ハウスイ側も、
0:30:50	補機冷の他にも、いくつか、
0:30:55	系統があったと思うんですけどもそこわあ、どう考慮されてますかね。
0:31:07	例えば、排水温水ピットの排水だとか、地下水の排水だとか、なんかそういうのも確かあったような気がしますけどもその考え方ですかちょっと教えていただけますか。
0:31:23	北海道電力の植原です。流量としてはそういった細かな配管の流量も包絡するような値だったと思いますけども確認の上、ご回答させていただきます。
0:31:37	はい。規制庁の伊藤ですよろしく申し上げます。
0:31:40	あと、ちょっとカンロの感度解析のモデルは説明性ちょっと上げていたきたいという指摘が先ほどあったと思いますけどもちょっと現時点で、
0:31:50	ちょっとわかんないところを、事実確認ということで聞きたいんですけども。
0:31:57	そうですねまとめ資料の何、7ページ8ページ。
0:32:07	すいませんまとめじゃないっすね。まとめ資料ですね。はい。まとめ資料の、添付5-7ページ。
0:32:13	8ページ。
0:32:15	の辺りなんですけども、
0:32:22	12号の縫製ピット今コンクリート閉塞とかで、
0:32:28	ちょっといじろうとしてる計画だと思ってるんですけど、その形架空の説明を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:39	を受けた感じだと、何ですかねちょっと図が適切なのがないのであれなんですけど、
0:32:48	モデルでいうと、
0:32:52	等、
0:32:54	添付 5-8 のモデルでいうと、池野。
0:32:58	1号、7、9に該当するところ。
0:33:02	が
0:33:07	放水ピットの部分だと思うんですけど、その閉塞コンクリートが、確か放水ピットの上の部分にちょこんと載ってるような感じで、素行 2A 棟、
0:33:18	何ですかね、あっちの逆止弁側に行く。
0:33:22	関東、閉塞している部分と 2 との間に、高さ一方向でちょっと差があったと思うんですよね。素行の部分って、
0:33:33	津波が一、
0:33:37	放水項の方から来たときに、何か空気がたまってしまうような構造になってるのかなとも思ったんですけど、そこって、どのように考慮されてますかね。
0:33:51	放水ピットの容積、空間容積をどう考えてるかっていう考え方を教えて欲しいんですけども。
0:33:57	その上の部分まですべてを空間容積として見ているのか。
0:34:02	空気だまりが発生しそうなどころについては、何か保守的にそこは見えないっていう話なのかちょっとそのモデルの考え方を教えていただけますか。
0:34:35	北海道電力の青木です。確認事項として 12 号の放水炉に対して対策はどのようにモデル化してるかっていうところの確認だと思ってます。回答としましては現状ではその対策工についてはもう、
0:34:48	感度解析のモデルに反映していなくて、なぜ反映していないかっていうところとかの解析上で閉塞すると、その先には、津波は流れていかないというところになりますのでそれも踏まえてモデル化してないっていうところが 1 点。
0:35:03	あともう 1 点この先伸びる施設の評価という観点で、このところを、
0:35:10	圧力評価水と一緒に用いるっていう観点で、このようにモデル化しているところになりますと補足、以上とさせていただきます。
0:35:25	すいません。規制庁の伊藤です。逆止弁側の表カーする時って、その放水ピットの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:35	水を持って来るんですかね。
0:35:41	何ですかねその上が開口している。
0:35:45	もルーにしているけども、
0:35:48	実際は閉塞している。
0:35:52	物を作るわけなんですよ。差っていうのは何か、どういうふうに影響するのかがいまいちよくわかんなかったんですけども、
0:36:02	何ですかね、このモデルは補修的なんですっていう説明だったんですが今の、
0:36:08	ちょっともう少し教えていただけますか。
0:36:17	そのモデル等、実情の差がどう影響してるのかっていうのを端的に教えて欲しいんですけど。
0:36:33	北海道電力の植原です。演者の逆止部の設計に用いる水位としては今お話ししていたモデルで、塑性ピット内における水頭を出して、
0:36:46	それを圧力として考慮すると、逆止弁の位置とスリットの位置の間で圧損あるんですけどもそこについては保守的に考慮しないことを考えてございました。
0:37:01	はい。
0:37:03	何となく言わんとしてることはわかるんですけども
0:37:08	管路解析に用いるモデルと、実際の構造っていうのが違うわけですよ。上を閉塞しているしていないと、その影響はどう考えているんですか。
0:37:21	そこで何かそこ2主眼を置いて説明していただきたいんですけど。
0:37:58	はい。
0:38:04	北海道電力の上原です。今実際のものとしては継続されると。それに対して立坑部を無現役のような形で推定を出してるんですけども、それ一が
0:38:21	保守的となっているかどうか、といった点につきましては整理して
0:38:27	別途ご説明させていただきたいと思います。
0:38:31	規制庁の伊藤ですありがとうございます。衛藤。
0:38:35	それ等、あと、まとめ資料の10ページ。
0:38:42	これは3号の放水炉のモデルですけども、ちょっとこの中でよくわかんなかったのがこの放水池、放水地の
0:38:52	その内側外側で池それぞれモデル化されてまして、これってどこに該当するんですかね、ちょっとこの内側外側っていうのがいまいちよくわかんなかったんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:23	当北海道電力の青木ですと、こちらもこれまでの回答と修復するところになるんですが、どのようにモデル化してるっていうところを今後説明図を用いて説明させていただきます。
0:39:35	ちょっと現状で回答できるというところで、
0:39:39	3号の放水、
0:39:42	については、
0:39:45	図面が、
0:39:55	衛藤、パワーポイントの資料ですと15ページ。
0:39:59	ちょっとマスキングの該当資料になってしまうところになるんですが、
0:40:26	当方スイッチの構造が地下から鉛直方向に積分していくというところで、一部、
0:40:33	海底のところでは水平の面積変わってくるところがございます。この地下部を鉛直方向に積分、鉛直方向に伸ばしたもっていうのが池に、
0:40:44	その周りのところが、一系モデルの池さんっていうところでモデル化しております。
0:40:51	ちょっとこれも口頭だとわかりづらいので今後図を用いて説明させていただきます以上です。
0:40:57	はい。規制庁の伊藤ですはい。わかりました。
0:41:01	先ほどの長昇龍。すいません防水駅立ち上がってるところは鉛直方向で、
0:41:10	何ですかね面積変わっているところは、
0:41:14	一つの池で、
0:41:16	考慮してモデル化していてこっちは一方で二つの池でモデル化してっていうのが、あったりすると思うんでその辺もあわせて整理していただけたらなと思いますが、いかがですか。
0:41:29	北海道電力の青木です。ちょっと先ほどの議論を踏まえて、立坑部に該当するところで池モデルの考え方が違うように見えているというところがありますのでちょっとこのモデル化の考え方についても、今後説明させていただきます以上です。
0:41:45	はい。規制庁内藤です。私からは以上です。
0:41:51	はい。規制庁藤原ですちょっと私の方でも、もうちょっとだけ使ってパワポの27ページをちょっと開いてください。
0:42:00	27ページで領主三郷流路縮小工の平面図に
0:42:07	弁当なっちゅうのが
0:42:10	何かちっちゃなですけど、これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:13	前回もちょっとなんか、貯水プールの排水と同じような感じでこのベンターの流入経路または感度解析に、としてのその必要性、その影響の程度っていうのをちょっと合わせて、
0:42:28	今後説明ください。この点いかがですか。
0:42:35	北海道電力の青木です。確認ありました3号の流路縮小工のベント孔については、こちらからの解析としてモデル化していないところになっております。
0:42:46	その考え方を今度、今後、記載の適正化というところで説明させていただきます以上です。
0:42:53	はい。衛藤。規制庁藤原です
0:42:56	ちょっともう1回言うと、記載の適正化ではないような気がします前回の貯水プールの排水工についてはあくまでも津波流入経路としてなり得るのか否かという説明だったので、一応それをきちんとコメント回答としてやっていただきたいと思います。この辺いかがですか。
0:43:13	北海道電力の青木ですちょっと言い方が、記載の適正化とってしまって語弊があったようですが、こちらの考え方についてしっかり資料化した上で今後説明させていただきます。以上です。
0:43:23	はい。規制庁しますもう1点だけこれ記載こっちの記載だけなんすけどパワーポ10ページとか11ページとかを開いた時にですねこれあの防潮底の図を何かどっか、
0:43:33	書いていただけないんですか。これぱっと見た時にですね、何かあたかも何か、
0:43:41	敷地のTPG三谷港、須磨松波がドーンてきて、
0:43:45	瓜生の図にもち見えるんで、これ12号四方水路後サンゴ商品水を全部ちょっとそういうふうに断面図に入れていただけたらということはいかがですか。
0:43:56	北海道電力の青木です。と防潮での位置図についてわかるような形で示させていただきます。以上です。
0:44:04	はい。
0:44:04	それはその他、会議室側で
0:44:08	使用するよろしいですかね。そしたらウェブで参加の方で、強い感度解析について何かございますでしょうか。
0:44:20	はい。よろしいですかね。はい。そしたら
0:44:24	貯水貯留付かの方の説明の方に移りたいと思います。説明ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:40	北海道電力の植原です。引き続いて9月29日の指摘事項No. 5番、貯留堰を下回る時間の評価方針についてご説明させていただきます。資料としては、
0:44:55	資料1-2と、当ヒアリング指摘事項回答ということで関連する内容、資料3-1でまとめてございますので、これらを用いてご説明させていただきます。
0:45:06	まずパワーポイント資料の16スライドお願いいたします。
0:45:11	貯留堰高さを下回る時間の具体的な評価内容ですけれども、貯留堰高さTP4メーター、マイナス4メートルですけれども、
0:45:21	この水位時刻歴は系のうち、最長となる時間と考えます。
0:45:28	この際、葉系が保守的な評価となるように、一時的な水位上昇の関係については、下回る時間に考慮しないこととしてございます。
0:45:39	時間の算出方法としては、パラストした下の前後の除斥高さを下回る時間を合算した値とすることと考えてございます。
0:45:50	下に評価の適用性及び妥当性ですけれども、先行審査実績、確認しておりますが、
0:45:57	泊3号と同様に、引き波の一時的な水位上昇については考慮しない保守的な評価を行っていることを確認しております。
0:46:05	現在泊については、入力津波確定してございませんので、確定後に貯留堰内に貯留される水量に対して、ポンプの運転時間に十分な整理
0:46:16	が確保されていることを確認いたします。
0:46:20	17スライドお願いいたします。
0:46:23	パルスの設定根拠についてですけれども、
0:46:28	3号の貯留堰の展覧高さを1税金上回るは形のうち、
0:46:34	貯留堰内の水位が回復する基準の設定を目的として、追加不服に関する感度解析を実施しております。
0:46:43	貯留堰に有意な流入量がえられるよう、ガイカイ水を貯留堰の点高さから1メートルプラス下3メートルと設定として、管路解析を実施しております。
0:46:55	その結果、26秒で、水位の回復が見込めることを確認したことから、一部堰内の水位が回復する時間としてアンゼンガワニ30秒と設定してございます。
0:47:08	以上から、貯留堰内の水位を回復しないは形として、TP-3メートル以下の、明、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:16	及び、3メートルを上回る時間が30秒未満のは形として、設定してございます。
0:47:25	引き続いてですけれども、資料3-1のヒアリング指摘事項回答資料の方をお願いいたします。
0:47:32	1ページ2ページについては、今ご説明した内容及び羽沢の審査でご提示している内容ですので、説明は省略させていただきます。
0:47:45	3ページ及び4ページにプラント側審査として、先行炉の貯留堰設置しているプラントの評価方法について比較してございます。
0:47:57	3ページが、各社の資料を並べたものでして、4ページの方に、そういう点をまとめてございます。
0:48:08	九州電力川内発電所さんでは、引き波時間のについては、その第1番目の主派遣について周期を想定して、その方振幅を設定している状況です。
0:48:20	まとめりとの相違点としては、一時的な水位上昇については考慮してないところは同じなんですけれども周期を設定しているといったところが違いとなります。
0:48:32	また、引き波の時間なんですけれども、外からの第1番目の周期を想定しているのに対して、泊については時刻歴派遣に基づき設定することとしてございます。
0:48:46	続いて関西大飯発電所3ですけれども、こちらも重責内の雨水を回復しないことを想定した形として、泊と同様に、ジュール堰内の水位が回復しないは形を対象として、時間を算出してございます。
0:49:04	またそういう点としてですけれども、下の欄になります。泊では継続時間ではなく、合算した値に設定している点が相違点となっております。
0:49:18	泊3号炉の貯留堰を下回る時間に関する評価ですけれども、先行審査実績と同様に、一時的な水位上昇を考慮しない、保守的な評価方法を行っていると考えてございます。
0:49:30	下回る時間の算出結果につきましては、つ入力津波確定後に確認することとしてございます。
0:49:40	5ページになりますけれども、
0:49:43	津波の周期を踏まえた評価を実施している九州電力川内発電所さんの内容を踏まえて、3、
0:49:54	泊の派遣について、基準津波のものになりますけれども確認を行ってございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:01	仙台では、川内発電所さんでは、周期を用いた評価方法を用いていると。泊発電所の派遣について確認した結果、第1点目が、様々な形状のは形があることを確認してございます。
0:50:16	また第2番目以降についても、同等規模の水位変動可能性が生じる小生じる可能性がございましたので、
0:50:23	保守的かつ網羅的な評価方針とするため時刻歴派遣による評価を行うことを考えてございます。
0:50:30	以下に図2及び図3で派遣の例を示してございますが、綺麗な制限はというよりは、波によって、各種な、
0:50:41	水、時刻歴は形がございまして、それを網羅的に確認することと考えてございます。
0:50:50	こちらからのご説明は以上となります。
0:50:54	はい。規制庁藤原です。質疑に入りたいと思います。今日事実だけなんですけどこれ、
0:51:02	資料3-1の4ページでセンコーとオーナー時でこの下の四角の一つ目のポチかな選考浸漬速度同様に行って、
0:51:15	書いてあるんですけどこれちょっと何か私違うように御なんか見受けられたんですけど、例えば大井とかだと、要は前のページ見たら、
0:51:25	要は何かある1区間を全部がさっと約四分、これだと、要は、何か上に飛び出してる時間は除外は、
0:51:34	してないですよ、増井は回復しないと当然ですけど、要は、
0:51:37	その時間的な加算っていう点ではちょっと多分違うと思ってますんで、
0:51:43	だからちょっとここはちゃんとうせ書いていただきたいのは、鳥栖飯野間回復という一つの項目と、あともう1回低下時間に加えるか否か、これはちゃんと
0:51:56	先行との差異としては、ここに表現をした方、しないとちょっと多分ちょっと違うような気がします。この点いかがですか。
0:52:08	北海道電力の植原です。まず下の文章の記載の意図としては、す。一時的な水位上昇を考慮していない保守的な評価ということで同様と記載してございました。
0:52:21	一方で大井の方では表のその中に表してるんですけども低下時間の合算報告についてはそういう点としては、こちらとしても確認している状況です。
0:52:33	そこについて、
0:52:35	まとめの部分でも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:38	わかるようにというご指摘かなと理解しました。
0:52:42	はい規制庁しますもっと具体的なところの4ページの表において、要は違う点というのをこの一番左の項目としてと、さっきの水位回復と、
0:52:53	あと継続時間、低下時間の参加というのをちゃんと項目として明確化した上での採用ここで表現をしないとちょっと文章だけだとわかりにくいってというのが私の言いたいことです。
0:53:05	北海道電力の植原で承知いたしました。水の回復及び低下時間の花岡さんという観点で、それぞれ、そういう点について
0:53:18	整理するというご指摘と理解しましたので、次終了かしてご説明したいと思います。
0:53:25	はい。それではより具体的内容に行きます江藤Power報、ちょっと見た時にですね、一応進まん指摘事項に対する回答の内容は、
0:53:38	ちょっともうちょっと一般的に一般の方でもわかるように、もうちょっと何か流れをきちっと書いた方が、
0:53:48	いいんじゃないでしょうかとかいうのがありますんです。ちょっとだから何ていうかねこの16ページの右脳なんかは形の図が書いてあってすごい何かこれ、ざっくりしてたり、
0:54:00	してですねもうちょっと具体的に、
0:54:02	何だろう、16ページに書いてある8Kっていうのが、
0:54:08	はい。
0:54:12	そうですね。これだけだ。
0:54:14	入ってる。
0:54:17	ペーパーといいねと。
0:54:24	まあ、後でお話しますけどもう少し具体的な話をしないとわかりにくくて、
0:54:28	これ読んだときに、パワポだけ読むと何やってるか全然わかんない。
0:54:32	何でかっていうと最初に、
0:54:36	4メーター、TP-4メーターに下回るもの。
0:54:40	に関して言うと、見て、一番右、
0:54:44	時間の長い方を選びますって言うんですね。
0:54:47	ね。
0:54:48	そのあとに、TP-3メーターのパルスの話が入っていて、
0:54:53	例えばAとBの間が30分。
0:54:56	今だったら出すのかっていう話もあたりして、
0:55:00	ねえ、だから何を言ってるかわかんなくなってくんだよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:04	言いたいことが、
0:55:07	また、そのあとの、
0:55:09	何だっけさ、資料の3-1読むと少しわかってくるけど、これだけ読んだら全くわからない。
0:55:16	はっきりと全くわからない。
0:55:18	だから、まずそこをわかるようにしていただくっていう話で、
0:55:23	まず、
0:55:24	フローチャート等で間フローチャートの、作業手順的に考えるとフローチャートとか手順、
0:55:32	作業手順とか作業ステップで考えると、
0:55:35	まずは、
0:55:38	あれなんですよ。
0:55:40	TP-4メーターを下回るところを探すっていう話は、故意があって、それがまず第1弾で、そうするといくつか、
0:55:49	領域の候補が生まれるんですよ。
0:55:52	それを、
0:55:53	江上。
0:55:54	C、
0:55:55	Dとか見て一番
0:55:57	長いところを選ぶんだけど、そのときに、
0:56:00	上昇裾は3でるって、下降側と花崗岩、
0:56:04	ここで絵で言うと、16ページで言うと、
0:56:07	AとB。
0:56:09	春名鹿野。
0:56:10	間が何十秒だったらオッケーですか。
0:56:15	1分ですか2分ですかって、大体この辺が、
0:56:18	他サイトではあんまりザクッと考えて、これだけ
0:56:23	使おう。
0:56:25	なんていうんだろう回復してれば十分だよなって言う状態しかないの
0:56:33	で、
0:56:33	多分、
0:56:34	他サイトとここが違うのは、
0:56:36	都築準津波の候補がたくさん、既存債務とか津波がたくさんあるんですよとかで候補もものすごくなんですよ。他サイトはそんなにないんですよ、もともとが。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:47	数が少ない、いいから、その8件の中で見ていくと、パターンが決まってきちゃってるから、派遣のパターンが決まってきちゃってるから、
0:56:56	細かいこと言わなかったと言わなくても決まっちゃうことが大半なんだけど、ここでは、ある程度、決め事、判断基準を決めないといくさん数があるので、
0:57:08	絞りきれないだろうし、一番安全側のものを、
0:57:12	を抽出してくる。
0:57:14	を網羅的にできなくなる可能性もあるのでこういうふうな決め事を作ってると思うんですね。
0:57:22	なので、いいとか悪いとかいうよりは、30分、赤井でございます。
0:57:29	だけど不TPマイナス4メートルで選ぶ中で、紙の一番長いものを選ぶのか、これ足し算したっていいわけで、
0:57:38	全然なぜ足し算しないのかっていうと多分、
0:57:41	すごい30分どころか、1分ぐらいあったりなんかしてるからだと思うんだよね。
0:57:47	だけどそのあと30秒時って話をし鼓膜しちゃっているんで、
0:57:52	そういった決め事もして帰っていきながら、
0:57:56	全体としては、あるエリアをスポット的に見ますという話をしてるわけですね。
0:58:02	一つ目の手順として、そのあと2、
0:58:05	TP-3メートル以下のハケ。
0:58:09	の話、いわゆるパルス数があるかないかでパルスを、
0:58:13	差し込む形込まないか、そういう話に入っていくのかなと思っていて、手順的に、
0:58:19	それが基本的にわかるようにしてもらいたいのと、
0:58:23	まずは、
0:58:25	パルスを、
0:58:27	判断するか、そうじゃないか、いわゆる、
0:58:31	AかBか、いずれ立ち込むじゃなくて、いずれかにするかという話が最初にあるので、そこに無矛盾がないようにちゃんないことをちゃんと説明する必要があると思うんですがいかがですか。
0:58:48	北海道電力の上原です。まず評価方法としては、閾値として、管野県解析結果を用いて30秒という仕切値用いた上で、
0:59:00	受理、16ページの図で言いますとそれが30名未満の場合には、A+Bといった算出方法になろうかと思います。ただ今の江崎さんの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:10	コメントを踏まえまして、こういった手順で、最終的に保守的な時間を設定するのかのフローのようなものがあってわかりやすいのかなと。
0:59:21	思いましたので、ちょっと資料について検討したいと思います。
0:59:32	そのね、方法論としては、私が言ってたような考え方でいいわけ。
0:59:38	これから議論する中でさ、いわゆるTP-4メーター。
0:59:43	のところを、
0:59:45	まず探しに行きますと、
0:59:47	竹井の中でね、
0:59:50	その中で、多分その中では多い。
0:59:54	何十秒と決めてないかもしれないけどかなりどう考えてまた、他サイトと同じで当たり前のようなものは、
1:00:01	切り離してここでいうと、で言うとAとB。
1:00:05	いうふうに考えて、
1:00:07	どれか、一番、
1:00:09	厳しいものが出てくるものを探していると、例えばこれAが一番長かったとしても、下瀬下としてもその他にパルスが入ってくる可能性があるところら言っている。
1:00:19	Aの領域に、そうすると、その手順としては、
1:00:25	宇佐見板野は家、
1:00:26	が、まずあるっていうことと、そのまま、時間が30秒っていう話って考えると、
1:00:37	有珠手順としてはそれでもどういう手順かというと5歳、僕は僕は理解しないかもしれんけど、-4メーターのところ、幾つか探して行って、その中で、パレスを考えていくという話は、
1:00:48	北海道電力の上原です。ちょっと先ほど説明省略してしまったんですけど資料3-1の2ページをご覧ください。
1:01:01	こちらでプラスを考慮しない時間の算出方法の例について記載してございます。
1:01:10	まず時刻歴は形としては全部見た上でなりますけれども、パルス数となるのは形がある場合の例として、一番上の図があります。
1:01:24	TP-4メートルを下回ってる部分としてAとBとCがあるんですけども、その中で30秒未満のようなちょっとしたパルス、
1:01:35	がある場合には、ここについては水位回復を考慮せずに、A+B+Cといった算出方法になろうかなと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:45	続いて、真ん中の図ですけれども、こちらも基本的には同じですけれども、A+
1:01:56	B、真ん中のパルスの部分については時間としては考慮しないとしてございます。
1:02:02	一番下ですけれども、
1:02:06	4名とルーを、のところで1回下回るんですけれども、そこから水位回復して、4メートル、
1:02:17	評価、回復して、30秒以上のさ、回復しているような場合にはA+Bとはせずに、ここではスリー回復を見込んで、
1:02:27	Bを時間としては抽出すると、こういったものを、
1:02:33	各波について確認して、ワーストなるものについて、重責を下回る時間として、評価に用いるというふうに考えてございます。
1:02:44	規制庁だけそれでわかりました。ただこれね最初わからなかったのはさ、
1:02:49	多分こうだと思っただけどAとかBとかいうのは、面積的に言うとき、
1:02:53	面積っていうと、例えば3ページの、
1:02:58	北海道電力って書いてあるのは清と鏡っていうところは長谷面積的に、面積っていうかね、要は破線で、
1:03:08	入れてるじゃない。
1:03:09	それと同じ考え方なんだろうけど、それがわからないんだよね。わからないところではわからないよ。
1:03:17	わかりにくい。
1:03:18	AとかBとはどこを指してるか、この一番下の方の、
1:03:23	A点置いているのか、どこ行ってるのかなっていうのがあって多分次の3ページ見ると多分面積見て的に書いてあるこの領域破線で囲ったところの、
1:03:34	話の時間を言ってるのかなと。
1:03:37	普通ここであれば、こういう波線で示すかなどって、
1:03:42	赤線にしてこっからこの領域とかじゃったら、基本的に時間なんで、
1:03:47	距離的な浅部を変えてやらないと駄目だよ。
1:03:51	これは電力の植原です。ちょっと図が誤解を招きかねない表現となっております。申し訳ございません。
1:03:58	3ページの図で言いますと、今、AとかBとか領域になってるんですけれども、この面積というよりはこのAとかBの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:09	横軸の時間が評価に用いるという意味で、この黒線との、貯留堰て何だかその境界線と境界線のぶつかったところ、
1:04:21	の時間を表現したかったというものでございます。こちらちょっと、修正したいと思います。
1:04:28	ネタ多分ここ2ページで言うとパルⅡの部分が一番上の方。
1:04:33	うちだけはパルスを考慮するパターンですよ。
1:04:36	そうするとプラスの部分を含めた時間を足してるっていうことがわかるように、実では書いてあるけどさ。
1:04:42	図示でもわかるようにした方がよくて、その辺がやっぱり、やっぱり配慮が足りなくて、
1:04:48	ただ、ここに言っているのは、
1:04:53	一つの4メーターを基軸にして考えるとこういうことになって、ただ、パルスパイルⅠⅠにするのを考慮するパルスなのか考慮しないパルスなのかっていうのは、
1:05:01	TP-3メーター。
1:05:03	ということが基軸になってるんだよねだから、
1:05:06	二つの判断基準があって、
1:05:09	それがちゃんとわかるようにせ、説明していただかないとわからない。56ページは、何でわからないかっていうと、このパワポの方は、
1:05:18	このポンチ絵の上のところに、
1:05:20	貯留堰を下回る時間、AもしくはBの大きい方って書いてあるんで、
1:05:25	基本的に言うと、
1:05:28	わかりにくいですよ。
1:05:31	単に単発で考えてるのかって、
1:05:34	Aの中にAとかの中に例えば、
1:05:37	パルスがあるっていうふうに考えていくのかっていうふうに、
1:05:40	考えていきますよね。だけど、
1:05:42	だから実態に近いもので話し合う、やりたいことをちゃんと書いていただかないとわかりにくくて、さっき言って特に、
1:05:50	こっちの詳細なんだっけ。
1:05:52	資料3-1と、2ページの一番下のところでいうと、
1:05:57	これは多分Bが長いのでっていう話ですが、パルスとしないっていう。
1:06:02	それは、なぜパルスとしないのかっていうと、一つそのさっきの基準があるわけですよ。
1:06:08	そういった話をちゃんと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:10	具体的に、その算出例みたいな形で説明していかないとわからない。
1:06:16	ですよね、言いたいことが。
1:06:19	北海道電力の植原です。今のご指摘承知いたしました。まずパワーポイント資料の方ですと、16スライドですけれども、
1:06:30	ここで右側のは形で示しているものっていうのがもしくはBのおっきい方ということで、基本的にはこれパルス数を考慮がパルスではない場合の、
1:06:42	算出例となっているかなと思います。
1:06:45	今回またちょっともうちょっと違う違う点としてバランスを考慮した評価方法というところ。
1:06:51	がありますので、そちらについても追加するなどして、説明性の向上に努めたいと思います。
1:07:01	また、
1:07:03	資料3-1の2ページの方ですかね、一番下の図でパラストしない場合の考え方についても、わかるように、資料を追加したいと思います。
1:07:16	今週ねこの3-1の資料の、例えば5ページこれは気づきの点だけなんですけど、
1:07:22	結局、
1:07:24	こういった場合に、
1:07:25	じゃあ、例えば12の場合は、多分、 $A+B$ 。
1:07:29	のパターンだと思うんですよね。嬉しい。
1:07:31	Cは排除してしまう。
1:07:35	いう話だよ。そういった結論が何も書いてないから、
1:07:38	例示も書いてないから、本当の趣旨がよくわからないですよ。
1:07:43	この資料として、その下もそうだけど、
1:07:47	どういうふうにこういった場合は判定してるのかっていう判定結果とは、わからないから、
1:07:54	その判定軒、あとは推測してくださいと。
1:07:58	規制庁には推測してくださいというような資料の作り方になってるんで、我々としては、何をしたいかわからないとかそういうところに発言があります。
1:08:07	北海道電力の植原です。まず算出方法については、2ページの方でお示ししようと思っていたところでした。5ページについては、ちょっと周期の観点で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:21	内野波を確認した結果を示しているところでしたので、ちょっとまずは算出方法、
1:08:28	については2ページの方の記載を充実して、修正したいと思います。
1:08:36	規制庁の江崎です。
1:08:38	続いてですねパワポの、
1:08:41	これ、3ページ、17ページか。
1:08:44	そのところで、
1:08:46	ここ一つは、
1:08:49	この30秒っていうのが一つのキーポイントになるわけですよ。
1:08:54	30秒にするのか、一部にするのか、それによって変わってくるんですよ。
1:08:59	で、なぜ30秒でいいのか。
1:09:01	という話になると、
1:09:03	そもそもが、
1:09:04	まずは
1:09:08	初期来グラフでいうとですね右下にグラフなんですけど、初期貯留堰内水位、TPマイナス4.3メートル、
1:09:20	ふぐ。
1:09:21	エビデンス的なものが、次、左の方の表の、※1に書いてあって日本加藤水井で想定される地震に伴う津波の解析を踏まえて設定。
1:09:33	であるんですよ。
1:09:34	このTP-
1:09:37	4.3メートルが何だかってこの米印だけで全然わかんないですよ。
1:09:43	だから、一番この30秒っていう数字を考えたときに、
1:09:48	例えばですね、TP-3年だ。
1:09:51	試していたとしたら、と決まっていたとしたら、また数字変わるわけですよ。
1:09:57	そういった時にこの
1:09:59	PT-4.3メートルがどの程度の保守性を含んでいるのかちょっとわからない。我々としてはこの記述だけじゃ判断しかねると、ここがキーポイントになるわけですよ。ただ30ここが変わると30日変わっちゃうんで、
1:10:13	だから行為が我々としては妥当性の判断できないので、
1:10:18	この辺はちょっと説明していただく必要があって、
1:10:21	これがいわゆる、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:24	基準津波と言われてる今決めてる最中ですけどもその候補の中で、
1:10:29	最低の水位、
1:10:31	の波源となっていることを、何か説明していただく必要があるのかなと思っ てはいるんですかね。
1:10:37	これ、これ鶏と卵の話で亡くなってる
1:10:41	もう何ていうんだろう、地べたの方。
1:10:43	基準津波。
1:10:45	の方でもあれだけここは我々の担当課も見なきゃいけないで、なぜか っていうと、特に海水ポンプだとかさっき言った循環水ポンプの稼働の 話とかその妥当性とか見ていけなきゃいけないのでプラント側、
1:10:59	できなきゃいけないっていう、そのあと5条の中で、
1:11:04	最低潮位ということと入力津波の設定と、取水性の観点が二つあるの で、我々もそれを見なきゃいけないので、同時の
1:11:16	審査部署で確認しなきゃいけないっていうことで、ただ、我々としては まだ全体が決まってない中で、ここ判断するとしたときに、どうい ような考え方になっているのか。
1:11:29	いわゆる米印ってというのが、単純に言うと私が言うように、
1:11:32	その基準となり、
1:11:34	その中で、いわゆる、例えば貯留堰があるなしでもいいんですけど、
1:11:39	なしだとした時に最低水位を、
1:11:42	今、今現在で出てきている、
1:11:48	剥げに基づいて出しているのかとかそういったことが大事で、我々の考 え方としてですね、
1:11:55	その辺がわからないと、日本等全部がどうのこうのとか言われてもそれ は何かわかりませんねって話で、
1:12:01	基準津波の方で審査してるわけではないので、
1:12:04	その辺はちょっとしっかりと、どういう考えに基づいて、
1:12:08	これを設定しようとしているかそれが一番大事だと思うので、
1:12:12	金さんは決まってませんからね。だから、それはちゃんと書いていただ く必要があって、それであとまた、マイナス4.3メートルはっていうの は、
1:12:20	今現在この4.3メートルが多分、
1:12:23	基準津波の候補の中で一番低いのかもしれないんだけど、今後変わら たらこれは変わるんですかって話があって、そうすと30秒が変わっちゃ うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:33	また、この分、宮野田野君じゃないけどまた関係性が出てくると、またあっちの基準津波の影響せ考え方。
1:12:43	影響受けることはありませんかっていうことが、
1:12:46	二つ目の質問。
1:12:49	その二つの質問の中で、何なんで、逆に言うと保守的に考えるんだったら、取水可能水位、水位まで下げちゃってそこから上がってくるぐらい考えておけば、何もそんな、
1:13:01	議事の解析結果に基づいてやる必要もないのになと思うんですけどその辺いかがですか。
1:13:06	なんで、そのぎりぎりで作るのかっていうと基本的にやっていることがこれが基準津波の設定とうにゆその実際のプラントの、
1:13:14	設計評価。
1:13:16	と、
1:13:16	を見比べながら決めて、ぎりぎりのところ、
1:13:20	低空飛行でやろうとすると、かなり詳細な検討が要るようになって、
1:13:24	ここが合うと、駄目になると、あちらにあちらにも影響を与えるし、あちらの方の条件が変わるとこちらにも影響を受けるというような、
1:13:34	そのジレンマがあるんですけど、なんでこんな細かい検討をしているのか、逆に言うと、ざくっと一文とか、
1:13:40	何かで変わりえないような、普遍性を、
1:13:43	説明してくれるんであれば方針として、
1:13:46	問題ないなと思うんですけど。
1:13:50	三つ目の質問として、例えば1分とか2分とか、あと厳しいんですか。
1:13:56	かなりここ水路の距離が長いからあんまり関係ないようにするんですけど、何でこんなにぎりぎりの設計するんですかってちょっと理解。
1:14:03	できないんですけど。
1:14:43	土岐ですけども、私はなぜこんなこと言ってるかっていうと、
1:14:47	他サイトを見ていくと、大体が2倍ぐらいの貯留量があって、何ら問題がないような話をずっと聞いてきてるので、
1:14:55	多分そちらもう多分、水路とか、海から3号機は、
1:15:00	雨水を通ってっての水路の区間もすごく長いですから水の量もたくさんあるわけで、そうしたときに考えたときに、TP-4メーターあれば、
1:15:11	確かあれですよ
1:15:14	TP [REDACTED] ですよ確か、まとめ資料に書いてある。
1:15:19	そうすると十分な量があるんじゃないかと思っていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:23	そうなれば、基本的に言うと、別にそんなに、
1:15:28	今後の基準津波の設定が変わったとか、
1:15:32	何かやったとしてもちょっと倍2倍ぐらいの余裕を持ったような方針で いけば、
1:15:39	特段困ることがないんじゃないかなと思うんですけど。
1:15:48	江崎です。これはね数をこうしなさいっていう強制してるわけではなく て、
1:15:54	逆に言うと他の制度だと、今の方針の段階でいったときに、特にここで 基準津波もまだ、
1:16:01	うん。
1:16:03	設定をしし審査をしながらという仮定条件であれば、状態であれば、あ る程度許容できる範囲はどのぐらいなのか。
1:16:13	ていうところで決めていかないと、
1:16:15	こっちのプラント側の方針は圧倒的に
1:16:18	上流側のものが、
1:16:20	決まってこないと。
1:16:23	全体の話は、確実っていうんですかね確定確実な
1:16:29	審査判断ができないわけならばある程度、
1:16:33	どう転んでも変わらないよねっていう方針であればそれはそれで理解が できて、
1:16:41	輸送費方針に関してはある程度アクセプトできるような状態になってく るんですけど、
1:16:46	この辺はどうなんすか設計の考え方と、それだけ
1:16:50	聞きたいのは貯水量厳しいですかってことなんですか。
1:17:00	北海道電力の植原です。現状ではそこまで厳しいという感覚は持ってご ざいませんですけども何かちょっと今、基準津波が決まってない中でという ところでした。で、
1:17:13	今のこのマイナス4.3メートルっていう水位が、30秒の決めるにあたっ ての重要な値で、ここで
1:17:25	この値自体に保守性を含んでいるかどうか、或いはそれを
1:17:33	そこの値というよりは30秒に対して保守性を見込んで、パイハブン見 込むだとか、
1:17:39	いう話もありございましたが、ちょっとどういったやり方がいいかも含 めて、社内検討したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:50	規制庁の江崎です。続いてですね、これ続いてなんですけど、どっちか というと、わかりやすさの観点で、
1:17:57	工夫していただきたいという。
1:18:00	お話です。この17ページいった時にねこれ4.3メートルからって、あ とはもうこう左グラフの縦軸見ると、いわゆる海水ポンプ室1の取水を 行っているわけですね。
1:18:14	それで
1:18:18	基本的にはこの横に書いてある波線の4メートルだとか3メートルー3 メートルっていうのは、
1:18:24	ガイカイ鳥栖貯留堰の外側の、
1:18:28	話をしてるわけですね。それは、
1:18:31	意味は僕はわかります。ただ、
1:18:33	これわかりにくいんだと思うんですよね多分。
1:18:36	位置が違うところの推移を示しているから、
1:18:39	なんだけど、これを例えば、
1:18:43	自主的に
1:18:46	イメージでも、まだすぐに計算した事例でも構わないんですけどこれを 計算したときの、
1:18:52	例えば、
1:18:54	10億のポンプの16ページにある、
1:18:57	これはちょっとマスキングしてるんで詳しくはできないんですけど、こ れ、縦断面図があって、
1:19:03	それで1その1で、いわゆる貯留堰の位置と、簡単に言うと、
1:19:11	この海水ポンプ取水してるところを、市の形がどうで、
1:19:17	実際的にはその関係性を示すところこういう形になるっていう説明があつた 方がわかりやすいかなと思うんですけどいかがですか。
1:19:24	いわゆる外側で留めのもので、非仕様値を作った方が安全側だって言っ てるわけですね。
1:19:32	それはよ、よくわかるんだけど、このグラフの中に、外界の話と、取水 性を1と違うものを全部押し込めると、
1:19:40	ちょっと行き到達感があつてわかりにくいと思うんだよね。だから介護 しようとして、わかりにくいよねこれで。
1:19:47	多分委員とかがすぐわからないと思うんで、これをもう少し、だから説 明性の向上の観点で、ちょっとわかりやすい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:56	もう少し具体的にね、誰にでもわかるような、落とし方を説明をっていうかね、このグラフの、
1:20:04	意味を、
1:20:07	ある程度、図も含めて説明して、
1:20:09	言ったほうがわかりやすいと思いますがいかがですか。
1:20:14	北海道電力の植原です。ご指摘承知いたしました17ページの図で、ガイカイ水-3メートルみたいなところはおっしゃる通り取水口位置の水位でインプットとして与えているもの。
1:20:30	一方ではこのグラフのなかの黒い線で上昇していっているところっていうのは、3号の海水ポンプ位置での推移というゴールで、
1:20:40	そこが今のグラフ上だと一つになっていてわかりにくいというところだと思いますので、まずの修正含めて
1:20:50	わかりやすいし、説明資料に、
1:20:54	なるように反映したいと思います。
1:20:58	規制庁の江崎です。私ばかり話して申し訳ないんだけど、
1:21:02	続いてね、さっきのこの30秒云々にせよ、かなり
1:21:07	幅を持って安全余裕を、
1:21:09	言った。
1:21:10	判断基準にしないのであれば、何か研修検証しますってさっき口頭では聞こえたと思うんだけど、
1:21:18	実際にこの
1:21:20	こういう方法でやって、基準津波が実際決まった段階で、
1:21:26	取水性に関して、
1:21:29	工場の中で検討することになってるじゃないですか。その時に、十分な種の処理、
1:21:35	貯水量がありますっていうところ。
1:21:38	置き、結局、許可の段階でも説明するわけで、その段階で、その検証、
1:21:45	この30秒かかり、30秒この前使うとしたら、30、そう、新たな基準津波、
1:21:52	を使って、30秒でちゃんと判断が適切にできているという、何か検証が必要だと。
1:21:59	思うんですけど、それをさっきされるっていうふうに聞こえたんですがそれで間違いはないです。
1:22:04	明石さん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:15	はい。北海道電力の植原です。16 ページの資料でも記載しておりますけれども、入力津波確定後に
1:22:24	水量に対して十分運転できるっていうことを当然津波が決まった後で確認する予定でございます。
1:22:34	規制庁の江崎でって、私これ最後になりますが、
1:22:37	この 17 ページの、感度解析条件というのは、さっきの感度解析と同じ話で、循環水ポンプの状態、停止の状態だとか、
1:22:48	等、
1:22:50	その 3 号機の非常用ポンプがどの時点で止まっているのか、基準津波の到達した。
1:22:59	時から、
1:23:01	どういう関係にあるのかとかその辺の簡単なタイムチャート的なものを、考え方、説明が必要かなと思うんですがいかがでしょうか。またそこを確認。
1:23:11	どうして求められて、内藤名倉の方ほうからですね、確認を求められていると僕は考えていて、いわゆるプラント側としてね、
1:23:21	技術、
1:23:23	石渡委員の方のチームから託されてるのは、なので、この辺はちょっと詳細に説明いただけないでしょうか。
1:23:33	該当電力の植原です。感度解析において循環水ポンプとしては停止条件で実施しております、
1:23:44	運用を含めてですね、タイムチャート的なところを、今後お示しするようにいたします。
1:23:51	規制庁の江崎です。よろしく申し上げます。多分あと、あと、基準災害時の到達時間と、その停止時間の、そう、実際に、
1:24:02	整合がないかっていう確認を総合させていただきたいと思います以上です。
1:24:15	原子力規制庁の稲川です。今江崎の方からるコメントがあったんで
1:24:21	加え、くどくは言いませんが、パウポの 17 ページのところ三つ目のポツで、
1:24:29	26 行で、貯留できないの水位が回復を見込めることを確認したことからってことでその下の表で、26 秒になってますという、この 26 秒のところをもう少し詳しく、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:42	説明していただかないと、私どもその30秒の妥当性とか、いろんなところがありますんで、そこはもうちょっと丁寧に説明をいただければなと思いますので、
1:24:52	そこは対応お願いしたいと思います。よろしく。
1:25:13	規制庁の稲川です。趣旨は江崎が言ってることと同じですんで、私の方は、その辺も含めて、ちょっとこの2ページで、こういうボリュームの該当するのに、この2ページのパウポで、
1:25:27	本当に十分な説明ができるのかなっていうふうなことを大変、
1:25:32	危惧してます。もうちょっと丁寧に、資料なり、まとめ資料を見ても、2-2-76ですか。ここでちょっと若干こういういろいろ説明をしていただいでるんですが、
1:25:44	もう少し詳しく、
1:25:48	説明をいただきたいなと思ってますんで、あとは、本当先ほどちょっと江崎がるコメントをしたように、
1:25:57	ちょっと何となく物たり資料的に物足りないなというふうなところを強く感じてますんで、その辺を含めて対応を考えていただければと思います以上です。
1:26:08	北海道電力の植原です。ご指摘承知いたしました。17スライドの26秒の記載も含めて、より丁寧な説明ができるよう資料の方も修正していきたいと思います。
1:26:24	規制庁の江崎でさっき最後つつたんですけど、もう1個、1点だけ忘れてました。この17ページ、パウポの17ページの右下のこのグラフの中で思ったことは、
1:26:35	今選んでいるTPマイナス4.3メートルっていう波源んですよね。
1:26:41	多分最低水位の波源っていうことで、多分決めていらっしゃると思うんですけど、
1:26:48	これ、矢部南條っていう世界なので、逆に言うと、
1:26:54	この26秒というね、いわゆるTP-4メートルまで上がってくるものとして、これが最も遅い波源という観点で、
1:27:04	選ぶ必要はないですかっていうのはちょっと一つ疑問に分けました。この辺、いかがですか。
1:27:20	いただいたけどいわゆる流速っていうことだよ多分ね、引いた後に上げてくる比喩時間がかかる。
1:27:30	秒数で言ってるから、
1:27:32	そうするとそういった可能性は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:34	最低水位を抑えておけば問題ないんですってということなのか、でも、
1:27:39	パラメーターとしては、時間、
1:27:43	等、
1:27:43	あとその推移という、
1:27:45	未熟があるわけで、その2軸の変数があるってことはそれぞれに対して、
1:27:52	いろいろな不確かさがあるからその中で網羅的にやる必要が出てくる。
1:27:56	て考えられるじゃないですか。
1:27:58	なぜこれ水だけでいいんですか。
1:28:00	と言われたときに、
1:28:01	映像、ちょっとわかりにくいですよ。
1:28:25	北海道電力の青木ですちょっと語弊があるのかもしれないでもう少し丁寧に説明させていただきます。
1:28:32	こちらの左側に管路解析条件というところ書いておまして、こちらガイカイの水TP-3メーター、こちら外界の条件処理的な外側に、
1:28:43	一定のTP-3メーターの水位を与え続けるという条件で整理しております。この根拠ってところは、天端高さから+1メーターってところを、
1:28:54	設定しておまして、
1:28:58	また感度解析では、一時的に上回る系のうち、TP-3メーター上回るものが大半というところになりますのでこれを条件にしています。
1:29:08	で問題になってます。
1:29:11	だけですけど、私が言っているのは、TP-4.3メーターっていうものを決めたのと、
1:29:18	時間の20、
1:29:20	66秒。
1:29:22	て言った時に、すべての
1:29:24	方、
1:29:26	基準津波、
1:29:28	ではなくて、候補を含めていったときに、逆に言うとその26秒かかるという話であればわかる。
1:29:36	ですよ。
1:29:37	全部、すべての
1:29:39	波源に対して、
1:29:41	闇雲にやったってことはまだ今わかるんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:45	ただ 26 秒って決めるにあたって、
1:29:48	いわゆるこの立ち上がってくる流速だとか、いわゆる、
1:29:52	ここで言うと水がずっと停滞してるところもありますよね 4.3 って、そこまでずっと日引いてるから入ってこないんだと思うんだけど、
1:30:02	だから、基本的にそういったことも含めていったときに、26 秒って決まっているわけで、そうすると、
1:30:10	場面としてはこの 4.3 メーターじゃなくて -30 となってもう少し時間かかるわけですよ。
1:30:14	で、そういう波源はないのかっていう話。
1:30:17	だとか、実際にこの
1:30:20	水がある、停滞してから、
1:30:23	回復してくるじゃないですか。
1:30:25	その時間、
1:30:28	遅い波源と早い波源とかあるんじゃないかなと思うんですけど、そういったパラメーターから 1、
1:30:35	いろんな二つのプロメーターを考えた上で 26 秒決まっているのかっていう話なんだけど、
1:30:42	北海道電力の青木です。ちょっと図がないのでわかりづらいかもしれませんが、16 ページのところの、ちょっとマスキング対象になってしまおうんですが、
1:30:52	貯留堰の天端高さ TP-4 メーターをこれガイカイ条件で、TP-3 メーターの水位を与えています。で、取水炉の中の水位っていうのは TP マイナス 4.3 メーター。
1:31:04	一律に初期条件で設定してその条件で、解析をまわし始めると、ガイカイ側から、
1:31:12	TP-3 メーターで水与えているので、徐々に上流等水路の奥の方に津波が伝播していてそこで水位が上がる。外海水初期貯留できない水っていうのがマイナス 4.3 メーター。
1:31:25	ていうところになってくるので波源の水位のは形として与えているのではなくて、
1:31:31	この 600 秒という根拠をもって設定した初期水位として与えているというところになります。確認のありました流速っていう観点ではちょっと、その中では整理しきれていないというところになります。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:47	4.3メーターっていうのは、ある種、波源があるもの、実態ものとして決まっているけども、実際にその4メーター、TP4メーターこういったところ、
1:31:57	3メーター、1メーター
1:31:59	こういったところで、十分水の量があるだろうからそこから水が入ってくるというような水利条件でやって、実際決まっていると。
1:32:10	うんだから基本的に言うと、定常解析してるような問題だから、あまりその流速とかいうのは関係なく、関係ないってことで、わかりました。
1:32:25	ページの平賀です。今の話を聞けば、何となくああそうかなと思うんですが、ちょっと資料の中で読んだだけ読んだ、読んで、そういうふうなところが見つめるような資料を、
1:32:37	ちょっと提出していただければなと思いますんで、対応よろしくお願ひします。
1:32:49	はい。北海道電力奥寺です。ちょっと私が答えるのはあれですけども、相談しながらですね、わかりやすい資料になるように仕上げて、今のところとかも、
1:33:01	おっしゃってることがわかりましたんで、相談しながら仕上げます。以上です。
1:33:07	招いちゃうと多分発散しちゃうんで、それがちゃんと
1:33:11	理解できるような形で
1:33:13	わかりやすい資料を作っていただければと思います。以上です。
1:33:21	はい。規制庁藤間です。私も17ページついでにちょっと確認でして17ページこれは定常解析に近いようは、まず外界の推移を-3ですか。初期の
1:33:36	という月を-43にした状態でやった結果がこの右下のグラフは理解しましたで、ちょっとごめんなさい、お伺いしたいのはこの
1:33:44	何ですかね、この黒須黒いグラフで示されているのはこれが取水ごめんなさい補機冷ポンプ位置やベルマウス位置での、
1:33:55	水位ということで、だから時間がゼロのときは、これ多分初期状態は外界の水位が-3ですかね、の状態ですよ。で、
1:34:04	そっからスタートして20秒のちょっと手前から水位が上がってくるってことは、
1:34:10	要は定常の状態を、から、
1:34:14	水が流れ込んできてこの何ですかね取水の中を通過してようやくベルマウスの時に到達するのが、20秒ちょっと前の所でそっから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:26	水位がどんどん上昇していくとそういう
1:34:28	ことです。
1:34:35	いえ、北海道電力の植原です。ご理解の通りです。
1:34:40	はいちょっと何かその辺がよくわかんないんで、今平賀も江崎も言うてるように、要はどういったモデルなのかでどういった、要は時系列的にこういうふうに、
1:34:50	三角水が伝播して行って、とかいうのはちょっとやっていただきたいなと私は思いました。はい。
1:34:57	北海道電力の植原です。ちょっと先ほど来、資料の方、コメントいただいてますけれども、こちらについても、
1:35:07	資料の充実を図って記載内容わかるように、修正していきます。
1:35:12	はい。規制庁、ちなみにこれなんか
1:35:21	これあれですね今何かそういう定常解析である状態を仮定したんですけど何かこう、何らかの代表的な津波の波及を用いて何かこう、
1:35:30	ある程度確認をするようなそういったことって何かされる予定って何か、
1:35:35	あれですかまだ大分先かもしれないですけど、
1:36:17	規制庁じゃないですか要は何秒たったらこう水位が上昇し始めるっていうのは、この定常の評価では、今現時点ではそうでしょうと。ただ、実際の発見を用いた時に例えば今度、
1:36:28	別にこの初期水位とか、外回数にこだわらずとも、何らかのその水位が低下した状態でも、そういった実際波を使って何かこう、何らかの検証みたいなやつがあると何か、
1:36:52	はい。
1:36:54	北海道電力の植原です。入力津波、確定後に、実際の波を使って確認について実施したいと思います。
1:37:05	はい。衛藤規制庁ちゃう。そうずっとちょっと私の方からちょっと、16ページのところちょっと、
1:37:11	お伺いしましてそうですね。
1:37:16	資料3の1でしたっけ、これ、津波高資料3-1の資料というのは、ヒアリングに関する回答資料ということだけなんですけども、
1:37:27	ちょっとこの状態で玉野。
1:37:29	まとめ資料多分当初多分入らないのかなと思ってたんですけど今の議論を踏まえると当然、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:36	本もちょっと充実させるしまとめ資料にもきちっと、この辺の考えをちょっと整理されるという、とりあえず、まずそこいいですか、そういう理解でいいですか。
1:37:47	北海道電力の植原です。本日の指摘事項を踏まえましてパワーポイント資料、やっぱりまとめ資料については、充実していく予定です。
1:37:59	資料3-1の内容についても適宜盛り込みたいと思います。
1:38:04	はい。規制庁じゃないです。ちなみにちょっとお伺いしたいんですけども例えば資料3-1の5ページの上のほうの健全地形モデルのうちの拡大図の中の、
1:38:17	このAとAとBの間のこれニジュウマルからのパルスですかね、その隣の絵と、バッティングしてるこれ多分パルスじゃないと。
1:38:26	いうふうに判断してるんで、ちょっとお伺いしたのでこういった何かパルスじゃないような水とは形が出てくるようなものとこれって、
1:38:34	どういう波かって何か現時点で何かわかりますか例えば、どっかから反射してきた。
1:38:39	波だとか、とかあって、
1:38:42	要は、どこまでこれを見るんだらうっていうところが、
1:38:46	あったんで、
1:39:05	北海道電力奥寺です。こちらの方っていうと今下の拡大図というよりは、上ですね、180分まで書いてある形ですね。
1:39:17	この8Kの傾向っての一概に言うのは難しく、なぜならですね地形モデル今四つやってたりするんですけども、
1:39:25	それぞれ、あとはげもいろいろやってるっていうところもありまして、そういった中で、例えば1例としてこういう波源が出てきました。
1:39:34	という時に、
1:39:36	じゃあその出てきたものが、
1:39:40	この葉系がどういう状態かっていうのが、周りの状況を見ればわかるんですけど、何でかって一概にするのってなかなか、
1:39:50	難しいかなと思います。はい。
1:39:54	以上です。
1:39:56	はい規制庁じゃ多分漂流物とか評価の時に流向流速の時にはない津波のスナップショットみたいな形でいろいろと、要はどういう波が波源から到達してきて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:07	どういうふうにはね返っていくのかというのこれ今後かもしれないですけど、そういったものの中で要はどういった、何ですかねある程度考えさつき言ったようは、
1:40:17	特定できないとは特定できないっていう理由に至るまでに、いろいろちょっと見たら何かこういうものがあつたけど、こういうものから特定できませんだとかそういった、あれも特定できた一番別なんですけどね。
1:40:29	それとはちょっと何か今後、スナップショットとか用いてちょっとある程度の考察っていうのは何かもしあつたら、それ漂流物の時にも全然流用できるような気もするんで、そういう観点で今後制定可能ですか。
1:40:41	改良電力奥寺岡代表例とか例えば入力津波とかの傾向やそういうものが固まってきたときに、実際にスナップショットとかで分析しなきゃいけないということは我々もわかっておりますがそういったところで、
1:40:55	現象とかを説明できるように考えていきたいと思います。
1:40:59	示していきたいと思います。以上です。
1:41:03	はい。規制庁千原ですわかりました。はい。私の方で、以上ですがその他確認まず会議室は財投さん。
1:41:19	規制庁の伊藤ですあと、最初にちょっと事務的な話になっちゃうんですけども多分先ほどのやりとりの中で、
1:41:27	補機冷の海水ポンプの取水可能水位の何か具体的な数値についてももしかしたら言及あつたかもしれないので、そこについては
1:41:39	自動文字起こしの中でマスキングの対象範囲なのでそこはマスキングさせていただきますと思います。
1:41:45	あと、
1:41:47	1点理解の確認なんですけども、
1:41:51	ちょっと多いと。泊のパルスの話の、ちょっとさをちょっと確認し、申し訳ないけど確認させていただきたいんですけど。
1:42:02	衛藤泊では、この一時的な水位上昇っていうところの継続時間は、
1:42:09	貯留堰高さを下回ってる時間には入れないで、
1:42:16	この山王、
1:42:18	えっと、
1:42:20	3-1、資料3-1の3ページで、
1:42:23	書いてあるように、
1:42:25	赤い斜線部分の継続時間が、貯留堰を下回ってる時間として、
1:42:32	考えていると。一方で大岩。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:36	ここの中で出てきている、一時的な水位上昇と呼ばれるようなところも含めて、
1:42:44	すべてなんですかね。泊のこの図で言えば、の、
1:42:50	A区間の一番最初からBの区間の一番最後までを下回ってる時間として、考慮していると。
1:42:58	こういう差があるという理解でよろしいですか。
1:43:06	北海道電力の植原です。そういう点にも記載しておりますがそういったご理解の通りかと思えます。
1:43:13	わかりましたありがとうございます。
1:43:26	はい。規制庁藤原です。そしたら、ウェブで3課の方でこの件に関してございますでしょうか。
1:43:34	規制庁の石田ですけれども。
1:43:40	先ほど来の16ページと17ページの
1:43:43	円ですね、
1:43:45	まず、現状、このパワポの資料を書いていることが非常にわかりづらいという指摘が出ていて、私も同様のことを感じておりますので、ここは、
1:43:57	わかりやすさの観点での見直しをお願いしたいと思っております。それで、事実関係1点確認なんですけど、
1:44:05	17ページですね、黒ポツの三つ目のところで、
1:44:11	26秒間で貯留堰内の水の回復が見込めるという記述があるんですけども、この時のですね、
1:44:22	ポンプの運転状態というのはどういうふうに考えておられるのでしょうか。
1:44:29	確認です。
1:44:53	あ、北海道電力の植原です。ポンプの運転状態としてはSRPが2台運転していることを想定しております。
1:45:03	規制庁の石田です。そうすると、
1:45:08	温風2台運転が継続しているわけですから、
1:45:12	外部からの水供給海水の供給がなくてもある程度の水は連続して下がっているけれども、水位が上がってくれば、その下がってくる部分を見込んで26秒で、
1:45:28	もって回復が見込めるという理解でよろしいでしょうか。
1:45:39	北海道電力の植原ですご理解の通りかと思えます。
1:45:45	規制庁の石田です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:47	それですね、別添ですね、
1:45:51	2-2の、
1:45:54	77ページのところでですね、
1:46:00	各ポンプのですね運転状態の積算の考え方ですね、循環水ポンプが停止するまでに取水する水量ということで、
1:46:11	一定時間60秒間ですね、運転継続で、
1:46:17	3800立米。
1:46:20	これは1分か何ですかね、を見込んでるんですけど、その辺はこの26秒間を算出する際には考慮されなくていいんです、いいものなんじゃないかな。
1:46:42	電力の原です少々、社内確認しますのでお待ちください。
1:47:37	北海道電力の上原です。今、パワーポイント資料の17ページの方で、実施している感度解析については江津RP2台ということで、解析上の
1:47:52	仮定した水を与えて、
1:47:56	貯留堰の水位を回復する時間というのを算出していると考えております。
1:48:02	一方で、2.5のまとめ資料の2-77ページの方で、循環水ポンプが、
1:48:11	停止するまでの修正する水量、或いはSRPの運転台数についても、こちらは保守的な想定として、
1:48:21	先行プラントの状況も踏まえて4大条件で評価をさせていただきます。
1:48:27	こちらについては、プラント設計というか、の観点から保守的な評価を行うために、
1:48:36	条件として設定しているといった意味で考えてさせていただきます。
1:48:45	規制庁の石田です。パワポの方の17ページの記述とですね添付の方の別添の方のですね記述をですね、
1:48:55	並べて読むとですね、今おっしゃられたように感度解析の話それから設計条件、設計上使う、用いる数値という、その
1:49:05	使い分けというか切り分けがあるんだということは、読み取れませんでした。
1:49:12	なので少なくとも、パワポの資料を読む限りではですね、
1:49:19	ガイカイの方の水位回復の条件をもちろん基準津波が見えなくてまだわからないにしてもですね、プラント側の方の運転を上どういうふうに想定するかによってこの時間っていうのはですね、
1:49:31	かなり変動する可能性があるものだというふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:35	なので、30秒というふうに考えたというのであればそういうことも含めてですね、前提条件をきちっと書かないとここは非常に、
1:49:47	誤解するのかなという気がいたします。その意味からもですね冒頭
1:49:56	江崎の方がちょっと指摘されて指摘していましたが、
1:50:04	タイムチャートというかですねそれをきちっと時系列的に追っかけていって欲しいんですね。
1:50:11	つまり、例えばですけどもどういう状態で
1:50:16	循環水ポンプを止めるで止めて止めた後の60秒以上経過して初めて水位が下がり始めるとかですね、何かそういうふうな過程なのか、
1:50:30	解析上、水、解析上出てくるものなのかわかりませんがそういうようなものを明らかにしていってですね、今、この26秒であるとか30秒であるとかっていうふうに、
1:50:42	設定されているものは、十分合理性を持ったものであるということはきちっと説明をしていただきたいと。
1:50:48	思うんですが、いかがでしょうか。
1:50:53	北海道電力の植原です。ご指摘承知いたしました。まずパワーポ側と、まとめ資料側で、抜富田と条件が違っているように考え、見えますが、
1:51:07	そこについては、それぞれの前提条件がどう考えているのかといったところを記載するようにいたします。
1:51:17	またタイムチャート関係につきましては、先ほど江崎さんからコメントをいただいておりますが、
1:51:25	循環水ポンプの停止条件、あと、まとめ資料だと60秒空転見込んでおりますけれども、これは
1:51:35	中身としては、流量が、ポンプ停止してから流量が、
1:51:41	少し流れている時間をかなり保守的に見積もって60秒と設定しているものではございますが、
1:51:49	そのあたりも含めて、資料でわかるように、主にしていきたいと思えます。以上です。
1:52:00	規制庁の石田です。了解いたしました。
1:52:03	あと1点これは事実確認確認だけですけれども、
1:52:08	まとめ資料の75ページ77ページの時のところでですね、
1:52:13	切り換え水ポンプのですね取水をですね、今、
1:52:18	取水可能水位の数値を使っておられるんですけども、
1:52:24	これは設計取水を使わない理由はどのようなものでしょうか。
1:53:25	少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:51	北海道電力の植原です。SRPの取水可能水位については、
1:53:58	それを使う。
1:53:59	すいません。
1:54:01	過去にですね水木実験実施しまして実際の成果の水確認しておりますので、その辺りを
1:54:12	用いているというものになります。
1:54:18	規制庁の石田です。
1:54:20	大体確認ですけれども試験で確認をしているというのは、ポンプが、その数、取水、
1:54:29	でも、運転できるということの確認をしてるということなんでしょうかそれともきちっと架空の容量を満足するというところの確認なんでしょうか。
1:54:51	聞いてないわけですが、
1:54:54	そもそもこれ建設工認当時から、
1:54:57	実験結果使っていいですか。
1:55:00	今回、適合性の審査で来実験値出してきてるんです。どっちですか。
1:55:05	今回の適合性審査において用いている値になります。ちょっと今回の、ちょっと添付資料に添付できてごさいませんでした、すでに提出済みの資料として添付資料の9海水ポンプの
1:55:20	水理試験についてという資料を提出して、
1:55:25	だと思のですがすいませんちょっと今回、つけておりませんので、
1:55:31	今後ちょっとそちらについてご説明したいと思います。
1:55:47	石田さんすいませんもしかしてマイクが入ってないかもしれませんが、いかがですか。
1:55:54	いや、今、先ほど事業者さんが話し始めたところで、私の方には音声が届いてないので、ちょっと聞こえていないんですが、若狭じゃもう1回ちょっと植原さん説明いただけますか。
1:56:13	実験。
1:56:20	はい、北海道電力の上原です。
1:56:24	海水ポンププーの取水可能水位に関わるような実験については、添付資料の9ということで、ちょっと今回お出しできていない。
1:56:34	ですけれども、海水ポンプの水理試験についての資料をまとめてごさいます。
1:56:40	ちょっとすでに提出はしたかもしれないんですけれども、今後の内容についてご説明させていただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:49	規制庁の石田です。はい、了解いたしました。
1:56:54	私からは以上です。
1:57:00	はい、規制庁違うその他WEB参加の方でこの件に関して何かございますでしょうか。
1:57:12	はい。
1:57:13	よろしいですかね。はい。
1:57:16	そしたら、全体を通じて時正常化から特にいやらしいですか。
1:57:22	はい。
1:57:23	じゃあ北海道電力さんの方から、
1:57:25	何かありますでしょうか。
1:57:31	はい。北海道電力の高橋です。補当社の方からも特段ございません。本店、何かございますか。
1:57:39	北海道電力本店です特にありません。以上です。
1:57:44	はい。規制庁藤原です。今日の説明、質疑は以上ということで、ヒアリングの方はこれで終わりたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。